

御前崎市立浜岡北小学校

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年6月21日（火）

出前授業レポート

「教室での学びが、本物の学びにつながったと思います。」

御前崎市立浜岡北小学校の6年生25人が、体験を通して大昔の人々の知恵や工夫に触れ、学習への理解を深めることを目的に、浅岡先生が出前授業を計画し、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験活動を行いました。

土器の分類体験



「3つの土器が、作り方で分かれるのがわかった。」

歴史の授業が始まって、縄文時代が終わったところでしたので、学習進度としてはバッチリでした。まずはじめに土器片を3つに分けてみました。縄文土器と弥生土器の違いは明らかにわかりますが、弥生土器と須恵器の違いには苦労していました。

答え合わせの時に、土器の作り方を知り、弥生土器と須恵器の形や色、ろくろを使った跡などを見分け、分類することができました。



石器の試し切り体験



「最初、黒曜石は切れないと思っていたけど、切れて驚いた。」「包丁のように切れてすごかった。」



はじめは、打製石器や磨製石器などを紹介し、石器の役割や必要性などを考えました。石で木を切り倒したり、土を掘り起こしたりすることができることを本物の石器を見ることで納得しているようでした。次に、黒曜石を箱から取り出して試し切りです。新聞紙が切れるかを試しました。力の入れ方がわかると切れ始めました。ニンジンやキャベツの芯などの堅いものも細かく切っていました。黒曜石の切れ味の良さに、とても驚いていました。



火起こし体験



「とっても楽しかった！」

小雨の降るあいにくの天候でしたが、テントの下でデモンストレーションを行い、校舎の軒先で火起こしをすることができました。火起こしの経験のある子がわずかでしたので、興味津々です。みんな慎重に弾み車を回し、火種を作ろうとしますが、湿気の影響で多少火種ができにくかったよう

です。フーフータイムも頑張って火を起すことができました。

「火が起こせなかった。それだけ難しいということがわかった。」「難しかったけど、できてうれしかった。」



先生の感想

「体験すること、実物に触れることの意義を改めて実感できる活動でした。3つの内容の時間配分が適当で、どの活動も充実して行うことができました。この時代の大切なポイントをおさえた説明と、活動時間も十分にとっただけで、より学びを深めることができました。やってみたいという思いが表情や行動からはっきりと見てとることができ、主体的に学びに向かう姿がわかりました。」

